

シリーズ“私の風景誌”より VI (2006年～2008年)

My Record of the Scenery——Series VI
(Wood Works——Sculpture)

坪井勝人

Katsuhito Tsuboi

「木」とのつき合い

「私の風景誌」としてシリーズ化した木彫の作品を40年以上制作し続けてきました。日本の「木の文化」は森の文化とも言われ、今から約1万年前頃から連綿と続いてきました。それに比べれば私の作業は小さな小さな点にすぎません。私の痕跡としての創作活動は最近、風景彫刻「景（ケイ）」という客体的な視点から「境（キョウ）」といった包括的なスタンスへと移行すべく制作を通して試んでいます。つまり「木」とうまくつき合い、木の歳時と共に「木のある暮らし」として日常生活の中に、この身を置くことなのです。

先ほど、述べた様に日本の文化は「木の文化」なのです。「木の住まい」「木の道具」「木のモノ、コト」など、人と木の関係を通し、長い歴史の時間の中で様々な樹木と素材は、それらに伴う優れた技術が「巧（タクミ）」として木の生活の中で伝承されてきました。私達の日本という島国は、地形、気候、風土などの諸条件によって多様な樹木の再生力や育成力に恵まれた世界でも希有な国です。山や森には霊が宿り、また山の神祀としての樹霊信仰もあり、日本の生活文化の中には、やわらかな自然との協調がありました。「木や樹」の存在が日常の関係の中にあり、木による多くの生産技術に伴い多用な木の道具などが現代へと繋がっています。それら「木のモノ」はごく当たり前になりサイクルされ、再生されていた事を忘れてはいけません。また、四方を海に囲まれている島国である私達の国では、「海の道具」としても木をうまく使い分けてきたことは言うまでもない事です。

私は、この日本の四季の移ろいの中で、樹木のある生活環境、木の香り、木の感触、木の道具など、木と人間との心地よい関係として「木の造形」の存在が見直されるべきだと思います。

自然の中にある木という素材を自身の中に取り込み、咀嚼し、自然空間の中へ再び、自然にそっと置く事が私にとっての「境」となる世界であり、巡り来る季節と共に木の暮らしの中で、うまく「木」とつき合ってゆきたいものだと思います。



2008 コース展集中発表「大地の譜」・楠

風に吹かれて（椅子シリーズ） 1～6



椅子シリーズ「風に吹かれて」 各、H160～70 W550 D600 楠

シリーズ「大地の譜」



「大地の譜」 2007
9本組 H150 W400 D400 楠



「大地の譜」 2008
22本組 H60 w300 D700 楠



「大地の譜」2006 楠
H250 W180 D180



大地の譜」2006 楠
H250 W180 D180



「大地の譜」2007 楠
H150 W200 D65



「大地の譜」2006 楠、桂、ブロンズ
H50 W90 D60



「大地の譜」2006 楠
H120 W90 D80



「空を行く風」2006 楠、桂
H250 W200 D100

同朋学園「博聞館」壁面レリーフモニュメント 「共なるいのちの繋がり」

2008年11月

このモニュメントは、学園の新校舎の建設にともなって、その場所に育っていたケヤキの木数本が伐採されました。そこで、そのケヤキの木を素材として「共なるいのちの繋がり」というテーマで作品として再生しました。

壁面としては二面あり、この学園で互いに学び、未来へと成長してゆく姿をイメージし、種子や卵の形から若く希望に溢れ、やがて巣立ち、花開く事を連想して制作しました。西側の壁面には仏教の法輪を、北側の壁面には音符をかたどっており、ともにいのちが未来へと繋がってゆく姿を表現しました。



「共なるいのちの繋がり」北面 300×300 樺



「共なるいのちの繋がり」西面 280×300 樺

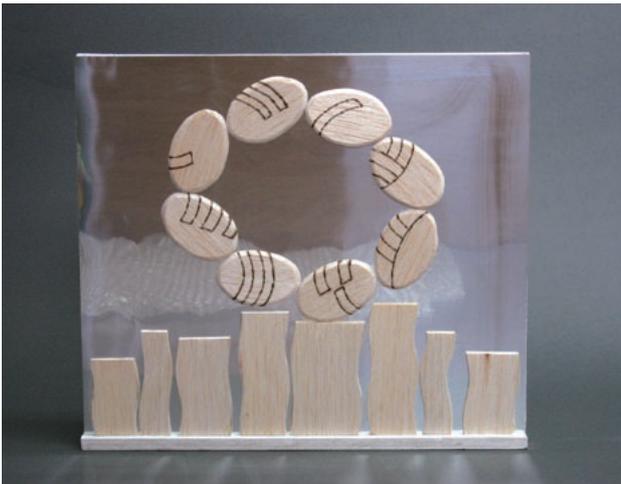
同朋学園稲葉地キャンパスの樺は伐採後、名古屋港近くの製材工場で人工乾燥し、指定した寸法に製材した。この地方で育った樺は、関東などの樺と違い木目が粗く暴れるので、なかなかやりにくい。例えば、反る、捻る、割れるなど、制作にはなかなか骨の折れる仕事である。そんな状態だから製材した中で使い物になるのは、ほんの数枚程度しかない。以上の条件の中、学園の理念や各大学の特色を考慮しながら、模型のデザインから、数回に及ぶ打ち合わせなどを経て、下記のような製作行程と設置を含めた約10ヶ月に及ぶ記録をまとめてみた。



同朋学園稲葉地キャンパス内に育っていた樺の木



伐採された樺の幹



縮小模型



縮小模型



実寸型板モデル



実寸型板モデル



木取り



粗取り



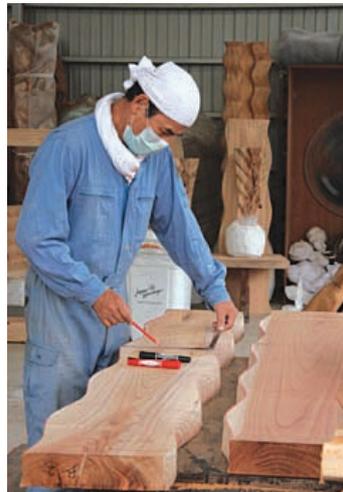
原寸型板制作



粗取り



加工作業



墨付け作業



彫刻作業



彫刻作業



彫刻作業



仮置き



仮置き



取り付け作業



取り付け作業



取り付け作業



取り付け作業



取り付け完了



取り付け完了